

# 第1回 アルパデミカ・レクチャーコンサート

## 15世紀から17世紀初頭のゴシック・ルネサンス期におけるヒストリカルハープについて

14世紀初頭から1620年ころのヨーロッパでは「ゴシック・ハープ」と呼ばれるハープが演奏されていました。アイルランドやスコットランドでは「クラルサッハ」と呼ばれる別の種類のハープが演奏されていました。

1580年から1600年の間に、鍵盤楽器の発展とともに、ハープの構造も変化しました。

ピアノの黒鍵にあたるクロマティックの弦が加えられた楽器が作られるようになったのです。今回、エリック・クラインマンはゴシック・ルネサンス期のハープについてレクチャーを行います。

レクチャーの後に、5人の演奏家によるヒストリカル・ハープの演奏があります。ハープ製作者によるわかりやすい解説とともに、さまざまなハープの音色をお楽しみください。

演奏曲目：Toccata, Quene Note, Ingrata, Branle d'ecosse, Biance flour, Constantia, La Manfredina, Der himel furst uns bewar, Cantigas de Santa Maria, Kaniad y gwyn bibydd, Madam Keel, 他



エリック・クラインマン (レクチャー)

デザイン学校を経て、実験的飛行機の仕事、デザイナーとして勤務。その後ヒストリカルハープ製作者の道を進むことになる。ドイツの著名なヒストリカル楽器製作者 Thibor Ehlers の教えを受ける。これまで世界中のミュージアム、コレクションを精力的に研究してきた。2006年、ヒストリカルハープの科学を研究するARPADEMICAを設立。ドイツにおける HANDWERKSKAMMER のライセンスをもつ希少なハープメーカーであり、また南ドイツで広く知られた画家でもある。



木田 智之 (ゴシック/ルネサンスハープ、金属弦ハープ)

2000~02年英国スコットランドに滞在し、金属弦ハープを Bill Taylor, Alison Kinnaird の両氏に師事。帰国後はこの伝統奏法の普及を行うと共に、アルパドピアを西山まりえ氏に師事。ルネサンス・パフォーマンス・グループ「スタジオ・オルフェオ」メンバ、英国 The Clarsach Society “Comunn na Clarsaich” 会員、NPO日本ルネサンス音楽普及協会会員。



澤田 厚子 (ゴシック/ルネサンスハープ)

名古屋市立菊里高校音楽科、国立音楽大学楽器科卒業。<時を放れて with Piano>、<同 with cembalo>等、現代曲からバロックまで幅広いジャンルで演奏活動。ノンペダルハープを彩愛玲に師事。2008年ドイツにおいて、詩人ヘルティの記念ミサク巡礼の道>レクチャーシリーズでゴシックハープを演奏。



真野 めぐみ (ルネサンスダブルハープ)

バロックハープを西山まりえ、声楽をキャサリン・ボット、鈴木美登里の各氏に師事。アイルランドにて伝統音楽を学ぶ。歌手、ハープ奏者として、リサイタルや、大学や美術館等でのレクチャーコンサートを、20年以上に渡り開催してきた。近年では、ジャンルを超えたミュージシャン達と数々のユニットを結成、キーボード奏者宇戸俊秀らとの「そら☆の一と」をはじめ、全く新しい、刺激的な音楽を展開中である。



齋藤 ひとみ (ゴシック/ルネサンスハープ)

3歳よりピアノに親しみ、小学校より大学まで学生時代は合唱の伴奏も務める。社会人(航空会社勤務)になり、複数の合唱団にて特にバッハ以前の曲に取組むが、日を重ねるごとに古い時代の曲に興味を抱くようになる。アリアンナ・サヴァールの自作自演(バロックハープと歌)のCDにより、ヒストリカル・ハープに劇的に目覚め、西山まりえ氏に師事する。



寺本 圭祐 (金属弦ハープ)

ハープを故雨田光示・幸子夫妻、坂上真清各氏に師事。2006年、論文「ウェールズのバード音楽における24のメジャー」で芸術学修士。ウェールズの音楽学者サリー・ハーパーのレクチャーの通訳。アイルランド人ハープ奏者シボーン・アームストロングと共演など。日本音楽学会、日本アイルランド協会、日本カムライグ学会、Historical Harp Society of Ireland 会員。



### 交通アクセス

南北線・三田線「白金台」駅 2番出口より徒歩約7分  
南北線・三田線「白金高輪」駅 1番出口より徒歩約7分  
浅草線「高輪台」駅 A2番出口より徒歩約7分  
JR各線「目黒」駅 東口より都営バス「大井競馬場前」行き「明治学院前」下車  
JR各線「品川」駅 高輪口より 都営バス「目黒駅前」行き「明治学院前」下車  
\*駐車場はございませんので、公共機関でお越しください。

チケットのご予約・お問い合わせ (寺本)

Tel/Fax: 050-3623-4735

e-mail: queenmaryharp@gmail.com